

## 2015年度事業報告

(2015年4月1日から2016年3月31日まで)

### 1. 大同生命地域研究賞

(定款第4条第1号に該当)

大同生命地域研究賞は、地球的規模における地域の総合的研究の一層の発展を支援することを目的として、1986年に創設された。

本財団の設立目的である国際相互理解の向上にあたり、地域研究が指向する目的と基本において一致することから、この賞を設け、学会関係者の指導、協力を得て主宰してきた。

#### (1) 第30回 大同生命地域研究賞の贈呈

第30回の贈呈を記念して、若手・中堅研究者の支援を一層強化することにし、奨励賞の受賞者を2名から3名に増やした。

当年度の推薦書受付、選考委員会ならびに贈呈式の開催状況は以下のとおり。

##### 1) 推薦書受付

- ①推薦委員数：69名(2015年3月末)
- ②推薦期間：2月20日～5月1日
- ③受付件数：28件(研究賞9件、奨励賞17件、特別賞2件)

##### 2) 選考委員会

- ①開催日時：2015年5月28日(木)
- ②開催場所：クラブ関西
- ③出席委員：秋道 智彌 氏(総合地球環境学研究所 名誉教授)  
印東 道子 氏(国立民族学博物館 教授)  
臼杵 陽 氏(日本女子大学 文学部 教授)  
小長谷 有紀 氏(大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 理事)  
島田 周平 氏(東京外国語大学大学院 総合国際学研究院 特任教授)

④受賞者：以下のとおり。

- 大同生命地域研究賞(副賞 300万円)

「アフリカの狩猟採集民研究と地域研究に対する国際的貢献」に対して  
京都大学 名誉教授 田中 二郎 氏

○大同生命地域研究奨励賞（副賞 100万円）

- ・「タイを中心とする東南アジアの交通・鉄道に関する社会経済史的実証研究」に対して

横浜市立大学 国際総合科学部 教授 柿崎 一郎 氏

- ・「中東・北東アフリカにおける未来志向型の地域研究とアラビア語による出版を通じた研究資源の共有化」に対して

秋田大学 国際資源学部 教授 縄田 浩志 氏

- ・「モンゴル及び中国西北部に住む諸民族の歴史と文化に関する研究」に対して

静岡大学 人文社会科学部 教授 楊 海英(大野 旭) 氏

○大同生命地域研究特別賞（副賞 100万円）

- 「アフリカ文学の研究・紹介およびアフリカ・日本間の文化交流活動」に対して

〈共同受賞〉

大阪外国語大学 名誉教授、中部大学 名誉教授 宮本 正興 氏

京都精華大学 名誉教授 楠瀬 佳子 氏

### 3) 贈呈式

- ①開催日時：2015年7月24日(金)
- ②開催場所：クラブ関西
- ③参加人数：約80名

### (2) 「大同生命地域研究賞」30周年記念シンポジウムの開催

賞の創設30年を機に、地域研究が、世界の諸地域との関わりを通じてどのような形で社会に貢献できるかを議論することを目的にしたシンポジウムを以下のとおり開催した。

- ①テーマ：混迷の時代を読み解くー地域研究を未来にどう活かすかー急速なグローバル化が進行する一方で、文化・歴史・宗教などの多様性に起因する対立が世界各地で深刻さを増している。地域研究はその解明にどう立ち向かおうとしているのか。グローバル化時代に求められる地域研究のあり方を探る。
- ②日時：2015年11月23日(月 祝日)
- ③会場：大阪大学中之島センター10階「佐治敬三メモリアルホール」
- ④プログラム：以下のとおり。

## 第一部 基調講演

『「鉄の胃袋」をもった男が語るフィールドワーク』

講師 石毛 直道 氏(国立民族学博物館 名誉教授)

食文化研究の第一人者が、世界100カ国以上を歩いてきた経験をもとに、フィールドワークから見えてくる習俗、暮らし、環境等の多様性とフィールドワークの面白さを語る。

## 第二部 パネルディスカッション

『地域研究 最前線からのメッセージ』

ー持続可能な安定と平和、その可能性を考えるー』

パネリスト 小林 知 氏(京都大学 東南アジア研究所 准教授)

酒井 啓子 氏(千葉大学 法政経学部長 教授)

佐川 徹 氏(慶應義塾大学 文学部 助教)

コーディネーター 島田 周平 氏

(東京外国語大学大学院 総合国際学研究院 特任教授)

21世紀に入っても世界では多くの紛争が起こっている。領土問題、民族問題、宗教対立、貧富の格差、グローバル化の中で進む資源獲得競争など紛争の原因はさまざまで、しかも複雑に絡んでいる。世界各地の紛争に関わっている地域研究者がその紛争をどのように理解し、解決に向けた処方箋を提示できるか討論する。

⑤入場者：106名

当日のシンポジウムの内容は講演録に収録し、当財団ホームページに掲載するとともに、関係者(当財団役員、研究賞選考委員・推薦委員、報道関係者等)に冊子として配布した。

### (3)大同生命地域研究賞(ミニ)フォーラムの開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた報道、出版関係者向けのフォーラムを2012年から開催している。

2015年度は第30回の奨励賞受賞者2名を講師として以下のとおり開催した。

〔開催場所：大同生命大阪本社 5階会議室〕

開催日	講師	テーマ
2015年 10月14日(水)	楊 海英 氏	文化人類学者が語るーモンゴル系諸民族の歴史と文化ー
2016年 2月16日(火)	柿崎 一郎 氏	タイの鉄道122年ーその過去・現状・将来ー

## 2. 翻訳出版

(定款第4条第2号に該当)

### (1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版 ＜「アジアの現代文芸」シリーズ＞

#### 1) 新刊の発行

当年度の発行図書は次のとおりである。これにより対象国は12カ国、出版点数は66点となった。

#### ・No.65 カンボジア③

(書名) 『萎れた花・心の花輪』

発表年 1949、1972

著者 ヌー・ハーイ (1916-1975)

訳者 岡田 知子

#### ・No.66 ミャンマー⑨

(書名) 『二十一世紀ミャンマー作品集』

発表年 2002～2014

著者 ミンウエーヒン (1978-) 他29名

訳者 南田 みどり

#### 2) 電子書籍の発行

##### ①新刊

上記2作品は紙の書籍と同時に電子書籍を発行した。

##### ②既刊

以下の2作品を電子書籍化した。この2作品をもって既刊の電子書籍化は終了した。

・『黒いシャルワール』 (発表年 1941)

著者 サアーダット・ハサン・マントー (1912-1955)

訳者 鈴木 斌/片岡 弘次 編訳

・『グルムク・スィングの遺言』 (発表年 1951)

著者 同 上

訳者 同 上

①と②をあわせた電子書籍作品数は44点となった。

(2) アジア各国語への翻訳出版<「ジャパニーズ・ミラーズ」シリーズ>

当年度の発行図書は次のとおりである。これにより対象国は8カ国、出版点数は37点となった。

・No.35 カンボジア語⑦

(書名) 『二宮金次郎』(ポプラ社刊)

著者 木暮 正夫

訳者 ペン・セタリン

・No.36 ベトナム語⑤

(書名) 『14歳の君へ』

著者 池田 晶子(毎日新聞社)

訳者 ズオン・チ・ツェト・ミン

・No.37 ラオス語⑤

(書名) 『宮沢賢治童話集』

著者 宮沢 賢治

訳者 チャンタソン・インタヴォン

### 3. 教育支援

(定款第4条第4号に該当)

勉学環境に恵まれない東南アジアの生徒のために、次の支援を実施した。

① カンボジア：

3校(プレアススレー小学校、ゴトウフミオパデマコー小学校、プレイチラブ小学校)に図書を寄贈

② ミャンマー：

3寺子屋(ピンレーブ、ナツマウツ、ミガダーウオン)に文房具(ノート、鉛筆、ボールペン)を寄贈

③ ラオス：

3校(ヒンブンタイ小学校、ヒンブンタイ中高一貫校、ナンディック小学校)に図書および図書ケースを寄贈

## 「附属明細書」について

2015年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

以 上